

2年 ファインアート科 版画専攻

石版画

担当教員 板津 悟

受講アトリエ【工房】 修得単位：1単位

2022/09/26(月)- 2022/10/14(金)

9：20-10：50/11：00-12：30

授業内容

石版石を版材として使える様な状態にするまでの作業工程も含めて、素材との対話を大切にしながら個々の表現を考える。作品はモノトーンとし、一つ一つの行程を把握する。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月26日	月		工房準備/下絵用意	○	オリエンテーション/研磨	
2	9月27日	火		現代美術演習B		自主制作	
3	9月28日	水		自主制作		自主制作	
4	9月29日	木		製本実習		自主制作	
5	9月30日	金		自主制作		海外講座	
6	10月1日	土		フランス語/自主制作		自主制作	
7	10月2日	日					
8	10月3日	月		自主制作		自主制作	
9	10月4日	火		写真と美術	○	描画	
10	10月5日	水		自主制作		自主制作	
11	10月6日	木		製本実習	○	描画/製版	
12	10月7日	金		自主制作		海外講座	
13	10月8日	土		合同講評会			
14	10月9日	日					
15	10月10日	月		スポーツの日			
16	10月11日	火		写真と美術	○	製版/刷り	
17	10月12日	水		自主制作		自主制作	
18	10月13日	木		製本実習	○	刷り	
19	10月14日	金		自主制作	○	講評会	

学習目標

講義、実習を通して石版画の歴史や技術を学び、平版の仕組みを体感しながら石版石の特徴を活かした制作を行う。

予習・準備物

制作のもとになるエスキース、ウェス、新聞紙、紙（上質紙厚口、いずみ等）描画材料（ダーマトグラフ、ボールペン、等）、定規、鉛筆、マスキングテープ

注意事項

評価方法

提出課題による採点

2年生 ファインアート科版画専攻

技法と表現A

担当教員 鈴木吐志哉、東樋口徹、馬場知子、中村真理

受講アトリエ【工房】修得単位：2単位

2022/09/01(木)- 2022/09/22(木)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

8月までにおこなった4版種（シルクスクリーン、銅版画、リトグラフ、木版画）から各自で技法を選択し、画材の購入の仕方、取り扱い等を学びながら小作品のエディション刷りを体験し、版画集へと展開させます。

- ・エディションへの挑戦（10部程度）
- ・紙サイズA4（イメージサイズは自由）

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月1日	木		製本実習	○	オリエンテーション 2	鈴木 授業について
2	9月2日	金		制作	○	オリエンテーション 2	鈴木
3	9月3日	土		フランス語/自主制作		制作	
4	9月4日	日					
5	9月5日	月		制作		制作	
6	9月6日	火		現代美術演習B	○	制作	東樋口 徹・鈴木
7	9月7日	水		制作		制作	
8	9月8日	木		製本実習	○	制作	馬場知子・鈴木
9	9月9日	金		制作		制作	
10	9月10日	土		フランス語/自主制作		制作	
11	9月11日	日					
12	9月12日	月		制作	○	制作	鈴木
13	9月13日	火		現代美術演習B		制作	
14	9月14日	水		制作		制作	
15	9月15日	木		製本実習	○	背作～ミニ講評会	東樋口・中村・馬場・鈴木
16	9月16日	金		制作		制作	
17	9月17日	土		フランス語/後期ガイダンス		就職セミナー	
18	9月18日	日					
19	9月19日	月		敬老の日			
20	9月20日	火		現代美術演習B	○	制作	中村真理
21	9月21日	水		制作	○	講評会	鈴木
22	9月22日	木		製本実習			

学習目標

4月から7月にかけて行った基本4版種の実習から、各自が選択した技法による小作品制作。エディション刷り体験

予習・準備物

選択した版種ごとの画材（オリエンテーション 2で確認します）

注意事項

評価方法

提出課題による採点

製本実習

担当教員 山口茉莉

受講アトリエ [502] 修得単位：1単位

2022/09/01(木)- 2022/10/13(木)

9：20-10：50/11：00-12：30

授業内容

本の造り、紙の持つ性質を学び、実際に製本する過程を通して「本」そのものの価値を考えます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	9月1日	木	○	概要説明/ (ノート作成)		実技カリキュラム	
2	9月8日	木	○	上製本制作 (本文を綴る)		実技カリキュラム	
3	9月15日	木	○	上製本制作 (布の裏打ち)		実技カリキュラム	
4	9月22日	木	○	上製本制作 (表紙を作る、他)		実技カリキュラム	
5	9月29日	木	○	上製本制作 (仕上げ)		実技カリキュラム	
6	10月6日	木	○	簡易製本 (綴じる)		実技カリキュラム	
7	10月13日	木	○	簡易製本 (仕上げ) / 講評会		実技カリキュラム	

学習目標

簡易なノート制作と、自分だけの上製本を制作します。本の構造を知りながら、紙の特性や道具の使い方の理解を深めつつ、各自のポートフォリオや絵本制作に生かしていくことができる基礎を築くことを目指します。

予習・準備物

学生が用意するもの：筆記具 (シャープペン) は必須です。また、「目打ち」を持っていたら持参して下さい。表紙に使用する布 (布については授業内で説明します) 日常の中で見る本のデザインに注目してみてください。

注意事項

製本はmm単位の計算や、細かい作業の多い授業です。遅れを取ると次週に影響するので遅刻・欠席のない様に努めてください。

評価方法

提出課題による採点

課題作品70% 制作態度・積極性30%

2年ファインアート科版画専攻

木版画

担当教員 鈴木吐志哉

受講アトリエ【工房】 修得単位：2単位

2022/06/27(月)- 2022/07/16(土)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

1年次の「専攻別ワークショップ（版画専攻）」で体験した水性木版画1版単色をこの授業ではさらに多色木版画に展開していくことで、木版画技法の充実と色彩について研究します。水性多色木版画の技法は浮世絵に見られるように日本独自の進化を遂げた技法でもあります。古来からの技法と現代の技法を駆使して自由な発想で制作してもらいます。・版木サイズ300×225mm（4～5版多色）

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月27日	月		日本語		・制作準備～制作エスキース (スケッチを用意)	
2	6月28日	火		現代美術演習B	鈴木	・コラグラフの制作（素材を 考える） ・ガイダンス	コラグラフ
3	6月29日	水		・コラグラフの制作	鈴木	・コラグラフの制作	コラグラフ
4	6月30日	木		自主制作 版画概論	鈴木	・コラグラフの刷り（木版画 への応用） ・木版画について	コラグラフ
5	7月1日	金		木版画下図準備	鈴木	・トレースについて ・様々な彫り～彫り方による 効果～	下図～トレース
6	7月2日	土		自主制作/フランス語/版画講座		彫版	彫版開始
7	7月3日	日					
8	7月4日	月		彫版		彫版	
9	7月5日	火		現代美術演習B	鈴木	・様々な摺り～摺り方による 効果～	摺り開始
10	7月6日	水		彫版～試摺り	鈴木	・和紙について	
11	7月7日	木		自主制作 版画概論		彫版～試摺り	
12	7月8日	金		彫版～試摺り	鈴木	彫版～試摺り	
13	7月9日	土		自主制作/フランス語/版画講座		就職セミナー	
14	7月10日	日					
15	7月11日	月		彫版～試摺り		彫版～試摺り	
16	7月12日	火		現代美術演習B		彫版～試摺り	
17	7月13日	水		彫版～試摺り	鈴木	・様々な摺り～摺り方による 作品の展開～	
18	7月14日	木		自主制作 版画概論	鈴木	彫版～本摺り	本摺り開始
19	7月15日	金		彫版～本摺り	鈴木	彫版～本摺り	
20	7月16日	土		フランス語/ガイダンス	鈴木	制作～講評	

学習目標

水性多色木版画作品制作および基本技術と技法の展開。

予習・準備物

筆各種、紙皿2～3枚または紙パレットの小サイズ。筆、紙皿などは沢山あると便利です（100均のもので可）

注意事項

刃物を使用するので緊張感を持って制作する。

評価方法

提出課題による採点・授業態度・摺りの経験値

2年 ファインアート科

現代美術演習B

担当教員 黒瀬陽平

受講アトリエ [502] 修得単位：1単位

2022/06/21(火)- 2022/09/27(火)

9：20-10：50/11：00-12：30

授業内容

現代美術への理解を深め、作品制作を進めてゆくために、講義と課題制作、セッション（課題作品についてのプレゼン、ディスカッション）、講評会を組み合わせたカリキュラムを組んでいます。課題制作とセッションを繰り返すことで、学生ひとりひとりの制作プロセスに応じた指導を行います。講義では狭義の現代美術に限らず、サブカルチャーも含めた他ジャンル、他メディアの作品を数多く扱います。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月21日	火	○	オリエンテーション+講義①②		実技カリキュラム	
2	6月28日	火	○	課題1セッション		実技カリキュラム	
3	7月5日	火	○	講義③④		実技カリキュラム	
4	7月12日	火	○	課題2セッション（中間講評会）		実技カリキュラム	
5	9月6日	火	○	課題3セッション		実技カリキュラム	
6	9月13日	火	○	講義⑤⑥		実技カリキュラム	
7	9月20日	火	○	課題4セッション		実技カリキュラム	
8	9月27日	火	○	最終講義+総評		実技カリキュラム	

学習目標

カリキュラム全体を通して各自が制作テーマ、モチーフを発見し、自分なりの制作プロセスを組み立て、作品を完成させることを目標とします。講義では、個別の作品分析、事例分析を中心に進めますが、学生からの質問やリクエストに応じて内容は変化します。

予習・準備物

授業内でその都度指示する

注意事項

特になし

評価方法

授業態度及び提出課題による採点

2年 ファインアート科版画専攻

銅版画

担当教員 馬場知子

2022/05/07(土)- 2022/05/28(土)

受講アトリエ [工房] 修得単位：3単位

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

まずテストプレートで様々なマチエール表現を試しながら「道具、薬品の使い方」「描画」「製版」「刷り」の作業工程を理解し体得していきます。本作では自分の

イメージの具現化に必要な表現や技法を選択し制作します。

(わからないことはなんでも聞いてください。安全に楽しく制作しましょう)

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考	
1	5月7日	土		フランス語 版画講座		制作	制作準備	
2	5月8日	日						
3	5月9日	月		制作/日本語	○	実演/講義/制作	テストプレート制作	
4	5月10日	火		現代美術演習A	○	実演/講義/制作	テストプレート制作	
5	5月11日	水	2年研修旅行					
6	5月12日	木						
7	5月13日	金		制作/日本語	○	制作/エスキースチェック	*課題作品銅版サイズ 365×300mm	
8	5月14日	土		フランス語 版画講座		制作		
9	5月15日	日						
10	5月16日	月		制作/日本語		制作		
11	5月17日	火		現代美術演習A	○	制作チェック		
12	5月18日	水		制作		制作		
13	5月19日	木		版画概論	○	制作チェック		
14	5月20日	金		制作/日本語	○	試作チェック		
15	5月21日	土		フランス語 版画講座		制作		
16	5月22日	日						
17	5月23日	月		制作/日本語	○	制作チェック		
18	5月24日	火		現代美術演習A		制作		
19	5月25日	水		制作		制作		
20	5月26日	木		版画概論	○	制作チェック		
21	5月27日	金		制作/日本語	○	本刷り		
22	5月28日	土		フランス語 版画講座		制作		

学習目標

銅版画の制作プロセスを修得し、作品を完成させます。銅版画には様々な技法がありますが、エッチングを中心に物質の変容と結びついた腐食技法の多様な表現に触れます。版を媒介することで生じる他者性を柔軟に取り入れながら自分の表現の世界を広げましょう。

予習・準備物

予習：今回自分が挑戦したい表現や描いてみたいテーマがあれば簡単な下絵を用意して見せて下さい。(なくてもよい) 準備物：◇インク(シャルボネ 55985,文房堂インク青口) ◇グランド◇黒ニス◇裏止め用塩化ビニールシート◇リグロイン◇プリントクリーナー◇人絹◇寒冷紗◇ニードル人数分 スクレーパー パニッシャー◇ハーネミュール◇ピカール◇青棒◇松脂等アクアチントセット◇スパイクラベンダーオイル◇マットフィルム◇サンドペーパー(60~180番)

注意事項

紙やキャンパスに直接描くのと違い、版画はたくさんの工程を経て初めて自分の描いたもの(行為の結果)を確認できます(しかも左右反転して現れます)。ゆえに最初は面倒で制約の多いメディアと感じるでしょう。しかし一通り工程の意味を理解し表現技法を修得すれば、自由にどんどん世界を広げていけます。授業最初のテストプレート作りで積極的に遊んだり実験してみて、本作制作の前に銅版に親しみましょう。*作品銅版サイズ 365×300mm

評価方法

課題作品70% 制作姿勢(熱意・積極性など)30%

2年 ファインアート科

現代美術演習B

担当教員 黒瀬陽平

受講アトリエ [502] 修得単位：1単位

2022/06/21(火)- 2022/09/27(火)

9：20-10：50/11：00-12：30

授業内容

現代美術への理解を深め、作品制作を進めてゆくために、講義と課題制作、セッション（課題作品についてのプレゼン、ディスカッション）、講評会を組み合わせたカリキュラムを組んでいます。課題制作とセッションを繰り返すことで、学生ひとりひとりの制作プロセスに応じた指導を行います。講義では狭義の現代美術に限らず、サブカルチャーも含めた他ジャンル、他メディアの作品を数多く扱います。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	6月21日	火	○	オリエンテーション+講義①②		実技カリキュラム	
2	6月28日	火	○	課題1セッション		実技カリキュラム	
3	7月5日	火	○	講義③④		実技カリキュラム	
4	7月12日	火	○	課題2セッション（中間講評会）		実技カリキュラム	
5	9月6日	火	○	課題3セッション		実技カリキュラム	
6	9月13日	火	○	講義⑤⑥		実技カリキュラム	
7	9月20日	火	○	課題4セッション		実技カリキュラム	
8	9月27日	火	○	最終講義+総評		実技カリキュラム	

学習目標

カリキュラム全体を通して各自が制作テーマ、モチーフを発見し、自分なりの制作プロセスを組み立て、作品を完成させることを目標とします。講義では、個別の作品分析、事例分析を中心に進めますが、学生からの質問やリクエストに応じて内容は変化します。

予習・準備物

授業内でその都度指示する

注意事項

特になし

評価方法

授業態度及び提出課題による採点

2年ファインアート科版画専攻

リトグラフ

担当教員 中村真理

受講アトリエ [工房] 修得単位：3単位

2022/05/30(月)- 2022/06/25(土)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

リトグラフの特性を利用し、個々の表現したいテーマに基づき制作する。4版種の中でリトグラフの版作りは彫るのではなく「描く」という行為に最も近い版、ドローイングの様に手を動かして版づくりを行い自分自身で体験しながらリトグラフの仕組みを学んでいく。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	5月30日	月		日本語		下絵制作	
2	5月31日	火		現代美術演習A	○	オリエンテーション、道具の説明	
3	6月1日	水	○	描画の進め方、見当の説明、製版のデモ	○	刷りのデモ、版の準備	
4	6月2日	木		版画概論		自主制作	
5	6月3日	金		自主制作/日本語		自主制作	
6	6月4日	土		フランス語 版画講座		自主制作	
7	6月5日	日					
8	6月6日	月		自主制作/日本語		自主制作	
9	6月7日	火		現代美術演習A	○	紙の準備 (いづみ)	
10	6月8日	水	○	白黒1版の製版 (全員)	○	白黒1版刷り (全員)、片付け、鑑賞、	
11	6月9日	木		版画概論		自主制作	
12	6月10日	金		自主制作/日本語		自主制作/避難訓練	
13	6月11日	土		フランス語 版画講座		海外講座	
14	6月12日	日					
15	6月13日	月		自主制作/日本語		自主制作	
16	6月14日	火		現代美術演習A	○	ベタ版のデモ、描画	
17	6月15日	水		自主制作		自主制作	
18	6月16日	木		版画概論	○	自主制作	
19	6月17日	金		自主制作/日本語		自主制作	
20	6月18日	土		フランス語 版画講座		自主制作	
21	6月19日	日					
22	6月20日	月		自主制作/日本語		自主制作	
23	6月21日	火		現代美術演習B	○	製版、刷り	
24	6月22日	水		製版、刷り		製版、刷り	
25	6月23日	木		版画概論	○	製版、刷り	
26	6月24日	金		自主制作/日本語		製版、刷り	
27	6月25日	土		フランス語 版画概論	○	刷り、講評	

学習目標

講義、実習を通してリトグラフの製版方法や刷りの行程を学び理解を深め、リトグラフの特性を活かした制作を行う。

予習・準備物

300×400mm程度の作品のもとになるエスキース、ウエス、新聞紙、紙（試し刷り用上質紙、いづみ等版画用紙）、描画材（ダーマトグラフ、リトクレヨン、とき墨、油性ボールペン等）、筆、マスキングテープ、作業着やエプロン等

注意事項

作業行程の多い技法です、計画的に進めること、エスキースは色も含め考えてきてください。白黒1版の試しの作品と4版程度使った多色の作品を制作します。提出は多色作品のみ。

評価方法

提出課題による採点

2年ファインアート科版画専攻

版画講座

担当教員 今井圭介

受講アトリエ [502] 修得単位：1単位

2022/04/16(土)- 2022/07/09(土)

11:00-12:30

授業内容

始めに木版画や銅版画など様々な版画について実際の作品や版をみたり画像を通じたりしながら紹介していきます。その後、浮世絵版画や日本の近・現代の版画を中心にしてみていきます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月16日	土	○	版画よもやま話（版画の世界、用語、材料、紙等）		実技カリキュラム	
2	4月23日	土	○	版画の技法（木版画・銅版画）		実技カリキュラム	
3	5月7日	土	○	版画の技法（石版画・スクリーンプリント）		実技カリキュラム	
4	5月14日	土	○	浮世絵版画のはじまり		実技カリキュラム	
5	5月21日	土	○	浮世絵版画の世界と制作システム		実技カリキュラム	
6	5月28日	土	○	日本で初めて腐蝕銅版画を制作した人物は		実技カリキュラム	
7	6月4日	土	○	好奇心を満たせ！横浜絵から開化絵まで		実技カリキュラム	
8	6月11日	土	○	最後の浮世絵師・小林清親とは		実技カリキュラム	
9	6月18日	土	○	日本の近代版画は「版画」ではなく「創作版画」		実技カリキュラム	
10	6月25日	土	○	版画誌『月映』とは		実技カリキュラム	
11	7月2日	土	○	飛躍する現代版画と東京国際版画ビエンナーレ		実技カリキュラム	
12	7月9日	土	○	時代の寵児と呼ばれた版画家・池田満寿夫		実技カリキュラム	

学習目標

「版画」という言葉は明治の終わり頃に生まれた造語です。それは版の独自の表現を強く意識し、版による画（え）を意味したものでした。そうした版画についてルーツをたどったり画像や実物をみたりしながら、より一層に理解を深めていくことを目標にします。

予習・準備物

授業内容を事前に確認し、ネットや書籍などで予習をすること。また、美術館や博物館、ギャラリーなどの展示をチェックし、積極的に版画鑑賞を行っておくこと。

注意事項

講義で気になったり興味をひかれたことは自身でさらに研究をするように心がけましょう

評価方法

授業態度 及びレポート

2年 ビジュアルデザイン科/ファインアート科

フランス語II

担当教員 内田雅樹

受講アトリエ【501】 修得単位：2単位

2022/04/16(土)-2023/02/18(土)

9:20-10:50

授業内容

前期は主に、ステップアップした一年次の延長として展開し、テキストの問題練習なども利用しながら表現の拡充と定着を図ります。後期は、観光など現地で体験する観点を切り口としながら、シチュエーション別の対応力を養います。また、個人の関心に任せたフランス旅行の機会を想定して、自ら情報を収集して簡単なしおりを制作してもらい、フランスをより身近に体験する時間を設けます。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月16日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
2	4月23日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
3	5月7日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
4	5月14日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
5	5月21日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
6	5月28日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
7	6月4日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
8	6月11日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
9	6月18日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
10	6月25日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
11	7月2日	土	○	会話と文法		実技カリキュラム	
12	7月9日	土	○	前期まとめ		実技カリキュラム	
13	7月16日	土	○	前期まとめ		実技カリキュラム	
14	9月3日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
15	9月10日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
16	9月17日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
17	10月1日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
18	10月15日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
19	10月22日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
20	10月29日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
21	11月5日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
22	11月12日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
23	11月19日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
24	11月26日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
25	12月3日	土	○	会話と演習		実技カリキュラム	
26	1月14日	土	○	後期まとめ		実技カリキュラム	
27	1月21日	土	○	後期まとめ		実技カリキュラム	
28	2月4日	土	○	後期まとめ		実技カリキュラム	
29	2月10日	金	○	後期まとめ		実技カリキュラム	
30	2月18日	土	○	後期まとめ		実技カリキュラム	

学習目標

フランス語Iの修了者を対象とします。一年次のコミュニケーション力にさらに磨きをかけながら、会話・文法の両面でより幅広い表現力と知識の習得を目指します。また、「話す」「聞く」ことがより安定するように、「読む」「書く」側面も少しずつ意識してフランス語を総合的に身につけていきます。

予習・準備物

フランス語Iで学んだ内容を常に参照できるように、使用してきたノートとテキストが常時必要になります。

注意事項

初回到詳しいガイダンスを行いますので必ず出席して下さい。

評価方法

出席が重視され、教場での平常点が主な評価となります。また、前期・後期のまとめの回の出席が単位取得の絶対条件になります。

版画概論

担当教員 天野純治

受講アトリエ【501】 修得単位：1単位

2022/04/14(木)- 2022/07/14(木)

11:00-12:30

授業内容

現代美術作品、現代版画作品の鑑賞。ポップアート以降、現在に至るまでの様々な作品の鑑賞を通してその作品の魅力とコンセプトの研究を行い、現代版表現を考える。自身の作品をより理解し、制作の可能性を拡げることを目的に、個々の作品のプレゼンテーションを行う。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月14日	木	○	授業説明(版表現について)作品鑑賞		実技カリキュラム	
2	4月21日	木	○	作品鑑賞		実技カリキュラム	
3	5月19日	木	○	作品鑑賞		実技カリキュラム	
4	5月26日	木	○	作品鑑賞		実技カリキュラム	
5	6月2日	木	○	作品プレゼンテーション		実技カリキュラム	
6	6月9日	木	○	作品鑑賞		実技カリキュラム	
7	6月16日	木	○	作品鑑賞		実技カリキュラム	
8	6月23日	木	○	作品鑑賞		実技カリキュラム	
9	6月30日	木	○	作品鑑賞		実技カリキュラム	
10	7月7日	木	○	作品鑑賞		実技カリキュラム	
11	7月14日	木	○	作品プレゼンテーション		実技カリキュラム	

学習目標

この授業では現代版画とは何かを考えることを目標とします。現代版画や現代美術について多くの作品を鑑賞し、様々な作品が持つ魅力やコンセプトを知って行きます。それら作品の変遷、現代美術史に理解を深めることから個々の制作の可能性を拡げることを目標とします。

予習・準備物

各自、日常的に展覧会(画廊、美術館)を多く見ることから客観性を意識し、作品の持つ考え(コンセプト)に対して考察を行う。

注意事項

積極性を持って授業に参加してください。

評価方法

授業での積極性。自身の作品のプレゼンテーション、および研究発表。

2年 ファインアート科

現代美術演習A

担当教員 山本 晶

受講アトリエ [502] 修得単位：1単位

2022/04/12(火)-2022/06/14(火)

9:20-10:50/11:00-12:30

授業内容

発想から表現へ、どのようなアプローチをすればいいのかを実践を通じて探ります。個人の視点がどのように表現方法につながるのか。個人の内側にある発想が公共空間に置かれた時にどのように映るのか。演習を通して体験します。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月12日	火	○	オリエンテーション		実技カリキュラム	デッサン道具・画用紙（貸出し画板と同じ大きさを用意）・画板
2	4月19日	火	○	演習Ⅰ：自己と表現		実技カリキュラム	1年の最後の授業に制作した作品を持参
3	4月26日	火	○	演習Ⅰ：他者の考え		実技カリキュラム	アイデアを出す方法
4	5月10日	火	○	演習Ⅱ：身体		実技カリキュラム	自分の身長と同じ長さの紙
5	5月17日	火	○	演習Ⅲ：色について		実技カリキュラム	水彩絵具・複数の石膏像
6	5月24日	火	○	演習Ⅳ：描く/描かれるもの		実技カリキュラム	支持体と描画材
7	5月31日	火	○	演習Ⅴ：破壊と再構成の自画像		実技カリキュラム	本、雑誌など加工してよい書籍1冊持参
8	6月7日	火	○	演習Ⅵ：mapping		実技カリキュラム	地図・のり・カッター
9	6月14日	火	○	講評		実技カリキュラム	

学習目標

多様化する美術表現を体験し、表現の可能性の幅、及び表現は唯一ではなく複数であることを発見する。

予習・準備物

この授業は1回につき1つの制作をします。画材や道具は常に用意しておいてください。

講義室あるいはアトリエでの作業になりますがその都度お伝えします。

各授業の最後に次回準備するものをお伝えします。

注意事項

評価方法

制作姿勢・作品による採点

2年 ファインアート科版画専攻

シルクスクリーン

担当教員 東樋口徹

受講アトリエ [401、402、工房] 修得単位：2単位

2022/04/11(月)- 2022/04/26(火)

9：20-12：30/13：30-16：30

授業内容

基本的な水性インクで紙に刷る4版4色を使った作品（A4/21cm×29.7cm）を一点（紙4枚程度）、5版以上を使った作品（A3/29.7cm×42cm）を一点（紙8枚程度）制作。

授業スケジュール/計画

			指導	AM	指導	PM	備考
1	4月11日	月		日本語	○	ガイダンス、技法説明	PCを使用したフィルム作成説明
2	4月12日	火		現代美術演習A	○	技法説明	
3	4月13日	水	○	製版説明	○	刷り方説明	
4	4月14日	木		版画概論		制作	
5	4月15日	金		日本語	○	色々な刷り方説明	
6	4月16日	土		フランス語2 版画講座		制作	
7	4月17日	日					
8	4月18日	月		日本語		制作	
9	4月19日	火		現代美術演習A	○	制作	
10	4月20日	水		制作		制作	
11	4月21日	木		版画概論	○	制作	
12	4月22日	金		日本語		制作	
13	4月23日	土		フランス語2 版画講座	○	制作	
14	4月24日	日					
15	4月25日	月		日本語		制作	
16	4月26日	火		現代美術演習A	○	講評	

学習目標

シルクスクリーン版画制作を通して孔版の専門的知識を習得し、自己表現に結びつくよう学習します。基本の直接製版方法を重ねて実習し、環境にやさしい水性インクを使用して刷紙に刷ります。PCを使用した4色分解による4版4色の作品（18×25cm位）を1点、5版以上を使った作品（25×38cm位）を1点制作、色を刷り重ねる時の表現効果、用具資材の正しい使い方、手順を覚え多彩な効果を会得していきます。

予習・準備物

写真等の画像データ(200~300ppi程度の解像度でA4サイズ程度)、下絵(A3程度)、紙コップ、プラスチックスプーン、ウエス（ボロ布）、新聞紙、用紙（いずみまたは厚紙ケント紙）、制作マニュアル、マスキングテープ、試し刷り用紙（なんでも可）

注意事項

初日にPCを使用したフィルム作成の説明及び作成を行います。初日までにPCを使用した4色分解による作品用の写真等の画像データを用意すること。（短辺が1500pixel以上の物）

評価方法

習熟度と提出課題による採点

本科1年/ファインアート科2年/本科3年

日本語1(留学生対象)

担当教員 蔣 燕萍

修得単位数：3単位

2022/04/11(月)-2022/6/27(月)

授業内容

9：20-10：50/11：00-12：30

- ・ 言語知識、読解、聴解の実戦練習。
 - ・ 模擬試験。
- ※留学生対象授業。

授業スケジュール/計画

	出講日	曜日	AM	教室	PM	備考
1	4月11日	月	N1対策	501	実技カリキュラム	
2	4月15日	金	N1対策	501	実技カリキュラム	
3	4月18日	月	N1対策	501	実技カリキュラム	
4	4月22日	金	N1対策	501	実技カリキュラム	
5	4月25日	月	N1対策	501	実技カリキュラム	
6	5月9日	月	N1対策	501	実技カリキュラム	
7	5月13日	金	N1対策	501	実技カリキュラム	
8	5月14日	土	N1対策	501	実技カリキュラム	
9	5月16日	月	N1対策	501	実技カリキュラム	
10	5月20日	金	N1対策	501	実技カリキュラム	
11	5月21日	土	N1対策	401	実技カリキュラム	
12	5月23日	月	N1対策	501	実技カリキュラム	
13	5月27日	金	N1対策	501	実技カリキュラム	
14	5月28日	土	N1対策	901	実技カリキュラム	
15	5月30日	月	N1対策	501	実技カリキュラム	
16	6月3日	金	N1対策	501	実技カリキュラム	
17	6月6日	月	N1対策	501	実技カリキュラム	
18	6月10日	金	N1対策	501	実技カリキュラム	
19	6月11日	土	N1対策	901	実技カリキュラム	
20	6月13日	月	N1対策	501	実技カリキュラム	
21	6月17日	金	N1対策	501	実技カリキュラム	
22	6月20日	月	N1対策	501	実技カリキュラム	
23	6月24日	金	N1対策	501	実技カリキュラム	
24	6月27日	月	N1対策	501	実技カリキュラム	

学習目標

- ①日本語能力試験N1対策：N1の試験に合格できる力をつける。
- ②語彙力の向上。

予習・準備物

筆記用具

注意事項

取り組み姿勢による採点

評価方法

レポート提出並びに取り組み姿勢による採点